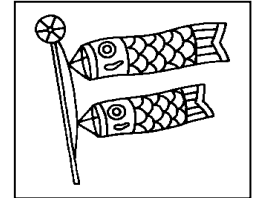


2012 春号

# ぷらう 46号



発行：TEACCH プログラム研究会

## <会長のつぶやき>

TEACCH プログラム研究会会長 内山 登紀夫

来年はアメリカ精神医学会の診断基準である DSM の改訂が予定されている。現在は 2000 年に発行された DSM-IV-TR が使用されているが、来年は DSM-5 になる。なぜかローマ数字からアラビア数字になるのだから、そんなことより大きな変化が、広汎性発達障害という用語がなくなるかもしれない、「かもしれない」というのはまだ決定ではないからだ。現在公開されている草案では、広汎性発達障害がなくなり自閉症スペクトラムに統一される。それからアスペルガー症候群という用語もなくなる(予定だ)。

ウイング先生の提唱した自閉症スペクトラムは社会性、社会的コミュニケーション、社会的イメージの3領域の障害、いわゆる三つ組(triad)で定義されたが、DSM-5の自閉症スペクトラム障害は A,B,C,D の四つの基準があり、思い切り簡単にまとめると A が「社会性障害」、B が「こだわり」であり、症状としては A と B の「二組」で定義される。社会性障害とコミュニケーション障害をまとめてしまったわけだ。「二組」以外の基準は C。症状は児童期早期に存在しなければならない(しかし、周囲からの社会的要求が、その人の限定的な能力を超えるまでは完全には明らかにならないかもしれない)。D。症状全体で日常生活の機能を制限し、損なう。この4つの基準で定義される。アメリカでは、この改訂によって自閉症の範囲がせばまり今まで自閉症の支援を受けていた人が受けられなくなるのではとか、そうでもないとか議論が盛んに行われている。

アスペルガー症候群が診断名から消えることに反対する当事者や専門家も多い。アスペルガー症候群の診断なら受け入れることができても自閉症スペクトラムの診断なら受け入れることができない当事者や家族がいるかもしれない。我々支援者にとって大切なのは、支援が必要な人はできるだけもれなく支援できるようにすることだろう。診断を認識することは親にとっても本人にとっても大変な作業である。アスペルガー症候群は自閉症スペクトラムの一部であるが、自閉症や自閉症スペクトラムという診断は受け入れることができなくてもアスペルガー症候群なら納得できるという当事者や家族は確かに存在する。そういう人にとっては出発点としてのアスペルガー症候群は有用な用語であったと思う。アスペルガー症候群の用語がなくなるのがいいのか、あったほうがいいのか、じっくり考えてみるのも自分の臨床態度を振り返る上で役立つ思考作業かもしれない。



# 変わっていくこと、変わらないこと。

—TEACCH コラボレーションセミナー2012 を終えて—

3回目を迎えた今回は、TEACCH 部のディレクターを長年務められたゲリー・メジホフ先生をお迎えしてのセミナーでした。テーマは、「アスペルガー症候群や高機能自閉症の青年・成人への障害にわたる支援」ということで、基礎的なことから最新の研究や具体的な実践例まで幅広くお話しいただきました。参加者の方は、すでに実践を積み重ねた方から、支援を始めたばかりの方までいらっしゃいましたが、それぞれが自分の支援に重ね合わせて納得しながら聴くことができ、刺激を受け、元気をもらったという感想をたくさんいただきました。メジホフ先生には心から感謝したいと思います。

2日目の実践報告とディスカッションは、4人の方から現場の実践を報告していただきました。幼児期から成人期、個人への支援実例から組織的な支援の展開までバラエティに富んだ発表でしたが、どの実践も TEACCH の理念が十分に生かされたもので、日本各地で実践が根付いていることを実感しました。

1日目、2日目とおして感じたことは、新しい知見が出てきたり、実践が進歩したり、どんどん変わってきているということ、でもその一方で変わらず大切なことももちろんあるということ。しっかりと地に足をつけながらも、柔軟に動けるような、そんな支援者でありたいと思った2日間でした。

今回も運営にあたっては、京都支部と滋賀支部のメンバーにお世話になりましたが、とても手際よく運営していただき、頼もしい限りでした。これからも会員みんなの力を合わせて作り上げるセミナーでありたいと思っています。また2年後もよろしくお願いします。

(講師招へい事業担当理事 村松陽子)

2012 TEACCH コラボレーションセミナーに参加して

東京支部 堀 友子

「名古屋から先、雪のため20分ほど京都着が遅れます。」とのアナウンスに「間に合うかしら？」とあわてふためいたことから始まった私のコラボレーションセミナーでした。

しかし、自閉症の人たちへの溢れんばかりの愛情を持って接していらっしゃる素敵な笑顔のゲリー・メジホフ氏のお話をうかがったり、参加者の方々の熱気を感じているうちにすっかり心は平静に戻っていたのでした。

メジホフ氏のユーモアを交えたお話は自閉症の方々への接し方など常日頃大切にしなければならないことを改めて確認することができたり、新しい情報なども学ぶことができ大変参考になりました。

それぞれの施設での実践報告はそれぞれの方々が非常に真摯に自閉症児者と向き合っており、情熱がひしひしと伝わってきました。特に特例子会社での実践はTEACCHの考えが具現化されており非常に関心いたしました。

内容の濃い2日間の体験、これからの日々の療育に生かさなくてはと思います。どうもありがとうございました。



TEACCH プログラムの進歩はすごい、まだまだ進化し続けると感じました。これで良いという妥協点がなく、自閉症の方の為に、TEACCH はまだまだ進化し続けているのです。

ゲーリー・メジボフ博士は、講演の最初に、TEACCH プログラムについて、物事は、変わり続けている。しかし、根底は同じである。我々に望む要求も変化している。それに応えるために研究が必要である。それを継続的に続けているのが TEACCH のスタッフである。と語られ、博士の話の内容からもご自身も毎日、問題意識を持って研究を続けられているのだと感じました。この飽くなき探求の心が、より良い支援を生んでいるのだと強く感じました。

博士の話の中で、最近の研究で分かったことで『共同注視』がありました。この考えは私の 25 年間支援という仕事に携わっていて感じている点と同じなので紹介させていただきます。自閉症の方の支援も早期介入が重要だと言われます。早期介入する場合、何に注目して支援すれば良いのでしょうか？メジボフ博士は、以下の5点を挙げています。

- ① 共同注視②模倣③カテゴリー化④対人コミュニケーション⑤ふり遊びです。
- 特に①が重要だと言っています。

TEACCH では、ここ 5～10 年、いろんな人がいろんな早期介入を試みてきました。早期介入のプログラムに参加した子どもたちの 5 年後を調査した研究より、自閉症が治った子どもはいませんでした。しかし、ここで、一番注目する項目は、『共同注視』でした。5～8 年後、子どもたちのスキルがどうなったかを調査した結果、『共同注視』の介入を行った子どもたちのスキルは他の子どもたちよりもかなり良くなっていたそうです。はっきりした理由はわかりませんが、私には何となくわかるような気がします。『共同注視』を行った子どもは、IQ、言葉の面、等すべて伸びていました。『共同注視』は、その後の学習の基盤になるスキルであると考えられます。では、『共同注視』とは何か？一般の子どもは、自分が注視しているものを他人に伝えることができます。子どもがお母さんに「ワンワン」と言って、犬の存在を教える。それに対して、お母さんが「ワンワンやね」と、同じものに注目する。この行為を一日に 3～5 回繰り返すことで、母と子の信頼関係(コミュニケーション関係)ができると思います。また、本を子どもに読み聞かせている時に、お母さんが、「あ～ワンワンや」とびっくりしたように言って、子どもにびっくりさせて注意を向けることも重要であると言われています。この様に、対象者と支援者が同じものに注目することが重要なのです。分かるような気がしませんか？人は、周りの人からいろいろなことを学んで成長するのです。学ぶためには、相手と同じモノに注目する力が必要だと私は考えます。その力をつけるために、『共同注視』という支援が重要となると思うのですが・・・

このセミナーを受けるまでは、『共同注視』という言葉を知りませんでしたが、何となく『共同注視』的な支援をずっと続けていました。博士が、効果があると言ってくれたので、この支援を継続しながら、新たな取り組みにも挑戦していきたいと感じました。

最後に、実践報告をされた 4 名の方、素晴らしい実践紹介で感動しました。ありがとうございました。私も負けずに頑張ろうという気になりました。

私が、TEACCHIに出会ったのは、12年前。熊本で、トレセミが行われたときです。

TEACCHのことを知り、熱心に話をしてくださる先生方に出会い、私はどんどんTEACCHIに引き込まれていきました。毎回、TEACCHのどの研修に出ても、人の温かさを感じ、優しい気持ちになって現場に戻り、目の前の子ども達や保護者と、改めて共に前に進んで行こう、という気持ちになるのです。そして、毎回、研修に出向くたびにいろんな仲間に出会い、新しい情報を得たり、学ぶことばかりです。今回のコラボセミナーでも、メジボフ先生から多くを学ぶことが出来ました。新しい医学的な情報だけでなく、様々な支援についても学ぶことが出来ました。また、実践発表でも、それぞれの方がすばらしい発表をされ、立場は違っても同じ支援者として、学ばせていただいたり、共感できたり、感動することばかりでした。さらに、発表のたびにコメントされるメジボフ先生の言葉もどれも心に染み入るものばかりでした。いつも、交流パーティーでは元気が良すぎる熊本ですが、帰路は、研修で学んだことを振り返りながら、保護者に寄り添う気持ちを改めて感じ、やる気を漲らせて帰熊しています。

TEACCHを愛される皆様と友に、これからもまだまだ学んでいきたいと思っています。最後になりましたが、いつも気持ちよく研修に参加させてくれる保育園に感謝！です。

## 平成24年度総会報告

平成24年2月18日(土)16:30より、京都繊維会館 シルクホールにおいて平成24年度の総会をおこないました。総会では、兵庫支部が支部活動を終了されることと、新理事・役員、および以下の6議案について会員の皆様の承認をいただきました。

\*平成24年度理事及び役割(☆ … 新理事)

支部	役割	理事氏名
常任	会長・講師招聘事業	内山 登紀夫
常任	副会長・講師招聘事業	村松 陽子
常任	副会長・HP 研修(トレセミ、実践研)	宇山 秀一
常任	研修(トレセミ、実践研)	諏訪 利明
北海道		☆ 中村 明美
東京		黒田 美保
神奈川		五味 純子
山梨		中井 百合子
石川		笠合 竜明
愛知		小川 真紀
滋賀		藤井 依子
京都		丸田 富美代
大阪	事務局	井上 芳子
鳥取		森田 礼子

香川		☆ 西村 健一
福岡		内田 博昭
佐賀		☆ 入井 淑圓
大分		三ヶ田 智弘
熊本	広報	岡本 美由紀

**監事**

水野 敦之氏(佐賀) 中村 眞喜子氏(愛知)

\*兵庫支部 支部活動終了 → 全国15支部となる。  
支部予算残金は、日本赤十字社を通じて東日本大震災義援金に寄付予定とのこと。

**議案1 平成23年度活動報告**

2月26日(土) 平成23年度第1回理事会(名古屋)  
2月26日(土)~27日(日) 実践研究大会2011 (愛知)

2月27日(日) 平成23年度総会  
機関誌『ぷらう』44号(春) 発行  
6月18日(土) 平成23年度第2回理事会(京都)  
8月14日(日) 総務委員会(横浜)  
機関誌『ぷらう』45号(秋) 発行

平成23年度 TEACCHプログラム研究会 会計報告  
\*会計年度 平成23年1月1日~平成23年12月31日

<b>&lt;収入&gt;</b>	
前年度繰越金	¥2,785,198
会費	¥6,202,500
トレーニングセミナー運営費返金(香川)	¥90,760
利息	¥680
合計	¥9,059,138

<b>&lt;支出&gt;</b>	
名簿及び会費管理費 (¥400×2,282 + ¥200×286名)	¥966,000
理事会交通費(2回分)	¥830,080
理事会会議費(2回分)	¥38,271
総務委員会交通費	¥87,000
総務委員会会議費	¥1,942
第10回実践大会運営費不足金(愛知)	¥5,745
第3回講師招聘事業運営費	¥1,800,000
通信費	¥238,840
支払手数料(振込手数料・相談料)	¥7,730
雑費(事務局用品・コピー代)	¥17,888
特別金計積立金	¥2,000,000
合計	¥5,793,396

**<収支>**  
収入¥9,059,138 - 支出¥5,793,396 = ¥3,265,742  
残金¥3,265,742は、次年度に繰り越します。  
以上の通り、相違ありません。

平成24年1月31日 TEACCHプログラム研究会 会計担当 濱田 美波  
平成24年2月10日 TEACCHプログラム研究会 会計監査 水野 敦之  
中村 眞喜子

**議案2 平成23年度会計報告**

参照:平成23年度会計報告  
平成23年度特別会計積立金 会計報告

**議案3 平成24年度活動計画**

2月17日(金) 平成24年度第1回理事会(京都)  
2月18日(土)~19日(日)  
コラボレーションセミナー2012(京都)  
2月18日(土) 平成24年度総会  
機関誌『ぷらう』46号(春)発行  
6~7月 平成24年度第2回理事会  
7月27日(金)~29日(日)  
トレーニングセミナー in 鳥取

機関誌『ぷらう』47号(秋)発行

\*上記以外、必要に応じて総務委員会を数回、開催する予定。

平成23年度 TEACCHプログラム研究会 特別会計積立金 会計報告  
\*会計年度 平成23年1月1日~平成23年12月31日

<b>&lt;収入&gt;</b>	
前年度繰越金	¥6,511,351
一般会計より	¥2,000,000
利息	¥1,052
合計	¥8,512,403

<b>&lt;支出&gt;</b>	
トレセミナー購入費(鳥取)	¥500,000
支払手数料	¥420
合計	¥500,420

**<収支>**  
収入¥8,512,403 - 支出¥500,420 = ¥8,011,983  
残金¥8,011,983は、次年度に繰り越します。  
以上の通り、相違ありません。

平成24年1月31日 TEACCHプログラム研究会 会計担当 濱田 美波  
平成24年2月10日 TEACCHプログラム研究会 会計監査 水野 敦之  
中村 眞喜子

**議案4 平成24年度予算案**

参照:平成24年度予算案

☆総会当日配布資料の予算書に不備がありましたことを謹んでお詫び申し上げます。  
修正予算書は、近日中に HP にもアップいたします。

**議案5 平成24年度特別会計積立金使途について**

☆希望支部より、地域普及活動や講演会開催などの活用企画を募集し、理事会もしくは総務委員会にて検討の上選考された支部に約30万円を上限として使っていただく(年度末に実施報告書を提出)ことになった。  
募集締め切り:前期(3月31日)・後期(6月30日)

**議案6 研究会会則変更について**

参照:TEACCHプログラム研究会会則平成24年度改訂版  
\*第4条、第19条、附則を変更  
設立年月日を追加(変更・追加:下線部分)

TEACCHプログラム研究会 平成24年度予算(案)	
<収入>	
前年度繰越金	¥3,256,582
会費 (¥2,000 × 2,175名 × 0.8) * 資料	¥3,480,000
入会金(¥1,000 × 200名)	¥200,000
合計	¥6,946,582
<支出>	
名簿及び会費管理費 (¥400 × 2,500名 + ¥200 × 200名 + ¥700 × 35回)	¥1,054,500
通信費	¥250,000
理事会交通費・宿泊費(2回)	¥1,500,000
理事会会議費(2回)	¥50,000
総務委員会交通費(2回)	¥400,000
総務委員会会議費(2回)	¥30,000
トレーニングセミナー運営費(鳥取)	¥300,000
実践研究大会運営費(石川)	¥500,000
ホームページ制作管理費	¥1,000,000
支払手数料	¥10,000
雑費(事務局用品購入など)	¥20,000
予備費	¥1,821,982
合計	¥6,945,582
TEACCHプログラム研究会特別会計 平成24年度予算(案)	
<収入>	
前年度繰越金	¥0,011,983
一般会計より	¥1,000,000
合計	¥9,011,983
<支出>	
支部対象助成金 (30万円 × 10支部)	¥3,000,000
支払手数料	¥10,000
予備費	¥6,001,983
合計	¥9,011,983

**平成24年度第1回理事会報告書**

平成24年度第1回理事会は、2月17日(金)17:00-21:00 メルパルク京都 研修室においておこなわれました。この理事会での決定事項および継続審議事項についてお知らせいたします。

参加理事: 宇山、諏訪、中村、黒田、茶木、五味、中井、笠合、小川、藤井、丸田、森田、西村、内田、入井、三ヶ田、岡本、大西、井上、濱田(会計)

- 議案1. 兵庫支部の支部活動終了について:  
大西理事より活動会員数の減少等、経緯・理由の報告があり、理事会にて承認された。
- 議案2. 平成24年度理事および役割の確認
- 議案3. 平成23年度活動報告
- 議案4. 平成23年度会計報告、特別会計報告
- 議案5. 平成23年度各支部事業報告
- 議案6. 平成24年度活動予定
- 議案7. 平成24年度予算案
- 議案8. 平成24年度特別会計積立金使途について:  
昨年度より継続審議されてきた表題について、昨年8月に総務委員会を開催し検討した結果、希望支部より地域普及活動や講演会開催など有効活用企画を募集し、理事会もしくは総務委員会にて検討の上選考された支部に、30万円を上限として助成する(年度末に、実施報告書を提出)ことに決まった。理事会当日、神奈川、熊本の2支部より企画申請書が提出された。事務局からのアナウンスが遅くなり理事会当日までに企画書を作成できない支部もあったため、前期(3/31)・後期(6/30)の締め切りを設定しあらためて募集することとなった。
- 議案9. トレーニングセミナー2012 in 鳥取について:  
2012年7月27日(金)~29日(日)、米子にて開催。  
森田理事より実施案が提案され、理事会にて承認された。
- 議案10. 実践研究大会2013 in 石川について:2013年3月2日(土)~3日(日)、金沢にて開催

笠合理事より実施案が提案され、理事会にて承認された。

議案11. ぷらう46号(2012年春号)について:

記事の分担と発行のスケジュールについて岡本理事より提案され、確認された。

議案12. 研究会会則変更について:

事務局より変更案が提案され理事会にて承認された。

議案13. 東京支部からの提案事項:

黒田理事・茶木氏より以下2件について提案され、それぞれ継続審議されることとなった。

1)東京支部のNPO 法人化 →支部 NPO 法人化は可能、方向性については支部内で検討。

2)コンビニ振込可能な新規会費管理システム導入について →事務局が情報収集・再提案。

議案14. その他

1)本部法人化について:昨年8月に総務委員会を開催。行政書士の方に以下の4項目について説明していただき、研究会を法人化するか否かについて検討した。その結果、法人化が義務づけられている訳ではなく、支部経理の統一や膨大な事務量の発生など、現在の研究会運営体制では難しい点が多いことが認められたため、法人化は見合わせる事となった。

①NPO 法人化することが必須であるのか?

→ 現状では研究会組織すべてがNPO 法人化を義務化される状況ではない。

②法人化する際にどのような手続きが必要なのか?

→ 法人化するためには、全国の支部経理を統一管理する必要がある、現システムを大幅に変更しなければならない。

③法人化した後には毎年どのような報告書を作成・提出しなければならないのか?

→ 毎年膨大な報告書を作成・提出しなければならない(事務量が膨大)。

④法人化した場合、どのようなメリット・デメリットがあるのか?

→ メリット:社会的認知度が高くなる、助成金などの申請が可能になる、等  
デメリット:法人格として認識されるため、様々な報告書類の作成・提出義務や納税義務が生じる。

2)理事会開催にかかわる本部会計支出について:宿泊必須の場合は、交通費だけでなく宿泊費も必要経費として本部会計より支出することとなった。

3)平成24年度版研究会リーフレット案:内容が確認された。

4)事務局担当の順番が確認された。次年度事務局は神奈川支部。

5)土倉事務所～会員管理、前後期入金など

6)平成24年度第2回理事会の開催日程:後日検討することとなった。

→平成24年6月24日(日)13:30-17:00、メルパルク京都にて開催することに決定。

## TEACCH プログラム研究会会則

### 第1章 総則

(名称)

第1条 本会は、TEACCH プログラム研究会と称する。

(目的)

第2条 本会は、TEACCH プログラムから学ぶ活動を通して、会員の資質の向上や会員相互の協力、内外の関係機関との連携を図り、自閉症並びに発達障害のある人たちの幸せに寄与することを目的とする。

(事業)

第3条 本会は、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

1. 特別トレーニングセミナーの開催
2. 実践研究大会の開催
3. 機関誌、その他の刊行に関する事業

4. 関係機関・団体との連携
5. その他、本会の目的を達成するために必要な事業

(事務所の所在地)

第4条 本会の所在地は、事務局所在地とする。

平成 22 年度～平成 24 年度事務局

〒547-0026 大阪市平野区喜連西 6-2-55

大阪市立心身障害者リハビリテーションセンター2階

大阪市発達障害者支援センター内

井上 芳子

## 第2章 会員

(会員の資格)

第5条 会員は、次の条件のいずれかに該当するものとする。

1. 自閉症並びに発達障害に関連する領域で、研究や実践に取り組んでいる者
2. 自閉症並びに発達障害のある人をもつ家族
3. 自閉症並びに発達障害に関連する領域の研究や実践、本人支援に関心のある者

(入退会)

- 第6条
1. 入会を希望する者は、入会金 1,000 円と年会費と入会申込書を添えて支部に申し込まなければならない。
  2. 退会する時は、本部事務局に通告しなければならない。
  3. 1 年間、会費を滞納したものは退会とみなす。

(会費)

第7条 会員は以下に示す会費を納めなければならない。

1. 年会費 4,000 円(うち 2,000 円を支部会費、2,000 円を本部会費とする)
2. 既納の会費は返納しない。

## 第3章 役員及び監事

(役員の定数)

第8条 本会には次の役員を置く。

1. 理事 15 名以上(うち会長1名、副会長2名)
2. 監事 2名

(役員の選出)

第9条 役員の選出は以下の通りとする。

1. 理事は各支部から選出された支部代表理事と、理事会において選出された本会を代表する常任理事で構成される。
2. 会長、副会長を輩出した支部においては、別に支部を代表する理事をおくことができる。
3. 会長、副会長は理事会において互選する。
4. 常任理事は、理事総数の3分の2以上の同意を得て、会長が委嘱する。
5. 監事は理事会において会員の中から選任する。

(役員の任期)

第10条 役員の任期は以下の通りとする。

1. 役員の任期は2年とし、再任は2期を限度とする。
2. 常任理事の任期は事業の進捗状況を勘案し、理事会において決める。
3. 補欠により就任した役員の任期は、前任者の残任期間とする。
4. 役員は任期満了の場合においても、後任者が就任するまでは、前任者がその職務を行わなければならない。

(役員の職務)



- 第 11 条 会長は本会を代表し、会務を総理する。
2. 副会長は会長を補佐し、会長に事故ある時はその職務を代行する。
  3. 理事は理事会を組織し、会務を執行する。
  4. 監事は本会の会計及び会務の執行状況を監査する。

#### 第4章 組織

(本部)

- 第 12 条 本部は、総務及び理事会全体で構成する。

(支部)

- 第 13 条 各地域において支部を結成しようとする者は、会員名簿(10名以上)、会則、活動計画案を会長に提出し、理事会の承認を得るものとする。なお、総務・持ち回り理事会でも承認を得ることができる。新支部の周知は、総会と機関誌「ぶらう」で行う。
2. 支部は、毎年度の活動報告書を会長に提出しなければならない。

(総務)

- 第 14 条 本会の企画運営を円滑にすすめるために、総務を置く。
2. 総務は、会長、副会長、事務局担当理事、常任理事で構成される。

(事務局)

- 第 15 条 本会に事務局をおく。事務局を担当する支部は、理事会で決める。
2. 事務局は、3年で持ち回りとする。

(委員会)

- 第 16 条 本会に研修委員会、広報委員会を置く他、必要に応じて委員会を置くことができる。
2. 委員は、理事会の決議を経て会長が委嘱する。

#### 第5章 会議

(総会)

- 第 17 条 総会は正会員をもって構成する。
2. 総会は最高議決機関とし、会長は毎年1回通常総会を招集しなければならない。
  3. 会長が必要と認める時、又は会員の3分の2の請求がある時は、臨時総会を開くことができる。
  4. 総会の決議は、出席者の過半数をもってする。
  5. 総会は以下の事項について議決する。
    - (1) 当該年度の事業報告並びに会計報告の承認
    - (2) 次年度における事業計画並びに会計予算の審議及び決議
    - (3) 役員にかかる件の承認
    - (4) その他運営に関する重要事項の審議

(理事会)

- 第 18 条 理事会は会長の招集により年2回(1月及び6月)開催する。また、特別理事会を随時必要に応じて会長の招集により開催する。
2. 理事会は理事総数の3分の2以上の出席がなければ、その議事を開き、議決することはできない。
  3. 理事会の議事は、理事総数の過半数で決定する。
  4. 理事会は本会の重要業務を処理する。

#### 第6章 会計

(経費)

- 第 19 条 本会の経費は、会費、寄付金その他の収入によるものとする。
2. 理事会の開催に要した交通費などは、本会より支給する。

(予算及び決算)

第 20 条 本会の予算及び決算は、理事会の議決を経、総会の承認を得てこれを決定する。  
(会計年度)

第 21 条 本会の会計年度は、毎年1月1日に始まり、同年 12 月 31 日に終わる。

#### 第7章 会則の変更及び解散

(会則の変更及び解散)

第 22 条 本会則を変更し、または本会を解散するには、会員の3分の1以上または理事会の過半数の提案により、総会において出席会員の3分の2以上の同意を得なければならない。

附則 この会則は、1989年4月1日より施行する。

1992年8月28日一部改正

1999年1月23日一部改正

2000年1月23日一部改正

2003年1月26日一部改正

2006年1月29日一部改正

2007年2月18日一部改正

2009年2月15日一部改正

2012年2月18日一部改正

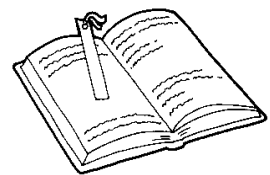
(研究会設立年月日)

1989年4月1日

### ホームページ担当からのお知らせ

ホームページは現在もリニューアル作業の継続中です。会員の皆様には大変ご迷惑をおかけしますがもうしばらくお待ちください。6月までには新HPで運用したいと思えます。

今回のパスワードは、yonaga(前回と変更ありません)になります。



#### お 知 ら せ

『TEACCHコラボレーションセミナー2012』に残念ながら 参加することができなかった会員の皆様に セミナーの抄録を送らせていただいています。参加されていない方で、抄録が手元に届いておられない方がおられましたら、お手数ですが FAXにて 京都支部の丸田(0774-46-1339)までお知らせください。  
尚、FAXには 支部名/お名前/送り先の住所 を記載してください。

# 第11回 TEACCHプログラム研究会 実践研究大会in石川 2013

日程：平成25年3月2日(土)～3日(日)

会場：石川県文教会館  
(石川県金沢市尾山町 10-5)

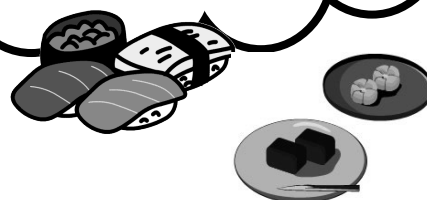
主催：TEACCHプログラム研究会

大会テーマ：「つながる」

【会場アクセス・情報】

JR金沢駅からバス3駅目「南町」より徒歩  
2分(金沢駅から 20 分程度です)。

会場は金沢市内の繁華街に位置します！  
近辺には、「兼六園」、「21世紀美術館」、  
「近江町市場」等、グルメや観光名所の魅  
力がいっぱい！是非金沢を堪能してくださ  
い！



理事会は同会場にて、前日(3月1日(金))の  
18:00 頃からの開催を予定しています。  
理事の皆様、よろしくお願いいたします。

## プログラム(予定)

### 1日目〔3月2日(土)〕

当事者の方のお話しを  
お聴きしたいと思います

13:00～	開会式・主催者挨拶
13:00～14:00	石川からの実践報告
14:00～14:30	休憩(非会員 入場)
14:30～16:30	公開講座「講師は現在、当事者の方で交渉中」(※公開講座は非会員も受講対象)
16:30～16:45	休憩(非会員 退場)
16:45～17:45	総会
18:30～	懇親会(※近辺ホテルで計画中)

### 2日目〔3月3日(日)〕

乞うご期待!

9:30～11:30	分科会(※年代別3カテゴリーを予定)
11:45～12:45	① 「まつもと しんのすけ 氏」によるライブペインティング 自閉症の天才イラストレータ 石川県出身
	② 石川支部の会報紙(毎月発行)を歴代展示
	③ 石川支部の運営委員によるオリジナル教材・支援ツールを一挙公開展示
12:45～13:00	閉会式・会長挨拶

様々な人たち・機関と「つながる」ことで、  
学び合い、支え合って、これまで広がってきました。  
全国の皆さんより分科会の事例も募る予定です。  
そして石川支部らしさを発信できるように頑張ります。  
皆さんのご参加、石川県で是非お待ちしております！

詳細はまた後日…



# 各支部活動計画

## <北海道支部>

### 1. 会議(支部関係)

場所:北海道発達障害者支援センターあおいそら/北海道教育大学附属特別支援学校

件名	日時	内容
平成24年度 北海道支部総会	1.17	平成23年度事業報告 決算報告 監査報告 平成24年度事業計画(案) 予算(案)他
第1回運営委員会	2.21	企画研修会について
第2回運営委員会	3.13	企画研修会について
第3回運営委員会	5.15	企画研修会について
第4回運営委員会	6.19	企画研修会について・来年度計画について
第5回運営委員会	8.28	来年度計画について・平成25年度総会について
第6回運営委員会	11.13	来年度計画について・平成25年度総会について

※平成25年度支部総会は、H25.1.15(火)北海道教育大学附属特別支援学校にて開催予定

### 2. 会議(本部関係)

件名	日時	内容	場所
第1回本部理事会	2.17	平成24年度本部事業及び本部運営について 総会議案について	メルパルク京都
平成24年度 本部総会	2.18	平成23年度本部事業報告、決算報告、監査報告 平成24年度本部事業計画(案)、予算(案)他	京都シルクホール
第2回本部理事会	未定	未定	未定

### 3. 勉強会・研修会

件名	日時	内容	講師
第1回	1.17(土)	会員限定学習会 「DVD 自閉症の人が見ている世界(ダイジェスト版)」鑑賞会	北海道支部運営委員会
第2回	4.24(火)	会員限定学習会 「DVD 自閉症の人が見ている世界①」鑑賞会	北海道支部運営委員会
第3回	5.26(土) ~5.27(日)	梅永雄二氏講演会 ※オープン参加	宇都宮大学 梅永雄二氏
第4回	6月	ミニ学習会「ASDの特性と構造化」 ※オープン参加	北海道支部運営委員

第5回	7.10(火)	会員限定学習会 「DVD 自閉症の人が見ている世界②」鑑賞会	北海道支部運営委員会
第6回	未定	講演会(於札幌・共催)	未定
第7回	8月	ミニ学習会「TEACCHの歴史と理念」 ※オープン参加	北海道支部運営委員
第8回	9.29(土)	会員限定学習会 「DVD 自閉症の人が見ている世界③」鑑賞会	北海道支部運営委員会
第9回	10.16(火)	会員限定学習会 「自閉症と医学」(仮)	北海道支部運営委員会
第10回	11.10(土)	実践報告会 ※オープン参加	未定

#### 4. 会報発行

件名	発行時期	内容
第1報	3月上旬	平成24年度総会報告、勉強会案内 他
第2報	4月	ぷらう(本部会報)
第3報	6月中旬	勉強会報告、勉強会案内 他
第4報	8月中旬	勉強会報告、勉強会案内 他
第5報	10月	ぷらう(本部会報)
第6報	10月下旬	勉強会報告、勉強会案内 他
第7報	12月上旬	勉強会報告、総会案内 他

### <石川支部>

- ・1月22日(日) 第10回 総会  
講演会 奥平綾子さん(株おめめどう代表取締役)  
大西俊介さん(障害支援団体「といくらふと」代表)  
「見えるコムしてますか? ~ 自閉症・発達障害の人との本当のコミュニケーション」  
場所 石川県地場産業振興センター新館コンベンションホール
- ・1月29日(日)9:30~11:30 「2013実践研究大会 in 金沢」第1回実行委員会  
於:横井小児科内科医院3階会議室(金沢市菊川1丁目10-3)
- ・2月18日(土)~19日(日)TEACCH コラボレーションセミナー2012  
理事会、TEACCH プログラム研究会年次総会  
実践報告:小坂正栄さん(日本ポーターズ協会石川湖南支部認定指導員)  
「高機能自閉症、愛ちゃんの軌跡~特別支援学校が果たした大きな役割」
- ・3月4日(日)9:30~12:30 第55回例会 支援グッズ持ち寄りパーティ①  
場所 金沢市教育プラザ富樫
- ・4月15日 or 29日(日)9:30~12:30 第2回実行委員会  
場所 金沢市教育プラザ富樫予定
- ・5月13日(日)9:30~12:30 第56回例会 小坂正栄さん(2月の京都での実践報告)

場所 金沢市教育プラザ富樫予定

・6月3日(日)9:30~12:30 第3回実行委員会  
場所 金沢市教育プラザ富樫予定

・7月8日(日)午前 小講演会 大阪医科大学 金奏子先生  
場所 金沢市教育プラザ富樫予定

・8月未定 9:30~12:30 第4回実行委員会  
場所 金沢市教育プラザ富樫予定

・9月未定 9:30~12:30 第57回例会 投薬について(薬の専門家を招いて)  
場所 金沢市教育プラザ富樫予定

・11月未定 9:30~12:30 第5回実行委員会  
場所 金沢市教育プラザ富樫予定

・12月未定(日)小講演会 漫画家 じゅんさん(予定)  
場所 金沢市教育プラザ富樫予定

会報に4コママンガを連載中。  
今度書籍になるそうです。出版  
記念も兼ねて、お話しをおきき  
したいと思います。

・2013年1月未定 第11回総会、新年ティパーティ+支援グッズパーティ②  
場所 金沢市教育プラザ富樫予定

・2013年2月未定 第6回実行委員会

### 2013 TEACCH プログラム研究会 実践研究大会 in 石川

日時 2013年3月2日(土)午後、3日(日)午前

場所 石川県文教会館(石川県金沢市尾山町10-5)

内容 公開講座、実践報告、展示コーナー、ライブイベント、理事会、会員総会他  
《 石川らしい実践研究大会を!!! 》

## < 山梨支部 >

昨年度は発達障碍の幼児が適切な支援を受けられることを願って、県内の私立幼稚園の中心的な存在であり、障碍のある子が多数在園する聖愛幼稚園の職員をトレセミに派遣して大きな成果を得ました。また、春・秋に実施した講演会には、施設職員や教員、医療関係者、保護者、学生など様々な立場の人が参加し、自閉症の特性や構造化の基礎を学びました。講師の先生方の実践に基づく具体的なお話は分かりやすいと大変好評でした。

今年度も引き続き支援者の養成と啓蒙活動に力を注ぐと同時に、TEACCH の手法を活かした発達障碍者のGH/CHでの生活を見学したいと計画しています。

また、今年度は会員の学びの場として、月に1回自主勉強会を開催します。具体的な事例を通して、対応の仕方や考え方を学び、よりよい支援に結びつけたいと思います。

【運営会議】

件名	日時	内容
第1回運営委員会	1/19(水)	・今年度計画 ・総会準備
総会	1/28(土)	
第2回運営委員会	3月14日(水)	自主勉強会について、本部助成金について
第3回運営委員会	5月	講演会準備、本部助成金申請準備
トレセミ派遣(2名)	8月	
第4回運営委員会	9月	講演会準備 セミナー参加者報告会をについて
第5回運営委員会	12月	総会準備

【勉強会・研修会】

件名	日時	内容
第1回 講演会	6月17日(日)	・諏訪利明先生(TEACCH 基礎講座Ⅳ)
トレセミ派遣(2名)	8月	
はるにれ見学会	9月20日～21日	地域活動支援、GH/CHなどの見学
第2回 講演会	10月8日(月)	・中山清司先生(TEACCH 基礎講座Ⅴ)
自主勉強会	4月から月1回開催 予定	ケーススタディによる会員相互の勉強会 詳細はサークルスクエアにてお知らせ

＜東京支部＞

	日程		講師・発表者	テーマ
1	1/15(月) 13:30～16:30 淑徳大学東京 サテライトキャンパス	定例勉強会	黒田美保	DVDで学ぶ「自閉症の人の見ている世界」
2	3/20(月) 13:00～ オリンピックセンター	定期総会 講演会	佐々木正美 内山登紀夫	「アスペルガーを生きる子供たちへ」 「TEACCHへの批判に答えて」
3	4/22(日) 10:00～16:30 ニコラ・パレ	基礎講座1	諏訪利明	「TEACCH 概要」 「自閉症の学習スタイル」 「構造化」
4	5月5日(土) カリタス子どもの家	事例検討会	大槻昌代	
5	6月 13:30～16:30 未定	基礎講座2	安部陽子	「評価について」
6	7/28(土)29(日) 10:00～17:00 オリンピックセンター	2Day ワークショップ	梅永雄二	「TTAP 講義・実習」
7	9月～12月 未定	事例検討会	久松久美子	「未定(医療的支援)」

・会場・時間は、都合により変更することもあります。受講者の方には別途ご案内いたします。

## お申込み

メール、または FAX にて【必要事項】をお書き添えの上、下記事務局までお申し込みください。講演会・基礎講座につきましては仮受付のうえ、参加費振込確認後の受付となります。勉強会・事例検討会等は当日受付でお支払いください。

【必要事項】：氏名・会員/非会員の別・メールアドレス・連絡可能な電話番号・保護者/専門職/学生の別（専門職の方は勤務先と職種、学生は学校名と専攻を明記）

講演会・基礎講座：TEACCH プログラム研究会東京支部会員→半日 1,000 円、一日 1500 円  
一般→半日 3,000 円、一日 5000 円

勉強会・事例検討会：TEACCH プログラム研究会東京支部会員→ 100 円  
一般→ 500 円

※2day ワークショップは別料金になります(会員のみ)詳細は、決まり次第 web にて公開致します。

FAX 050-3488-5766

Mail teacchtokyo@gmail.com

## < 神奈川支部 >

日時	内容	ご案内
2月18～19日	第3回 TEACCH コラボレーションセミナー	京都染織会館 シルクホール
3月2日(金) 18:45～21:00	◆TEACCH プログラム研究会神奈川支部 総会 【実践報告】「特例子会社でのジョブコーチ支援」 発表者 竹村 恵子氏	おださがプラザ 多目的ルーム
4月13日(金) 18:45～21:00	【映画上映会】「テンプル・グランディン」 司会 深水 綾(神奈川県立麻生養護学校)	おださがプラザ 多目的ホール
5月18日(金) 18:45～21:00	【講義】「自閉症の合理的配慮について」 講師 内田 照雄氏・江崎 康子氏 (神奈川県自閉症協会)	おださがプラザ 多目的ホール
6月29日(金) 18:45～21:00	【講義】「コミュニケーションについて」 講師 諏訪 利明(海老名市立わかば学園)	おださがプラザ 多目的ホール
7月13日(金) 18:45～21:00	【実践報告】 「コミュニケーション機器を使った実践例」(仮題) 講師 朝岡 有香氏	おださがプラザ 多目的ホール
9月28日(金) 18:45～21:00	【講義】「TEACCH の理念」 講師 諏訪 利明(海老名市立わかば学園)	おださがプラザ 多目的ホール
10月19日(金) 18:45～21:00	【講義】「自閉症の学習スタイル」 講師 諏訪 利明(海老名市立わかば学園)	おださがプラザ 多目的ホール



11月9日(金) 18:45~21:00	【講義】「構造化について」 講師 諏訪 利明(海老名市立わかば学園)	おださがプラザ 多目的ホール
12月1日~2日 2DAYS セミナー	【ワークショップ】「PEP-R」	(会場未定)

※日程及び内容はあくまでも予定ですので、変更になる場合があります。

※ワークショップ以外は参加費 会員 200 円、非会員 1,000 円です。

おださがプラザ：相模原市南区南台3-20-1小田急相模原駅北口 ラクアルおださが4階

TEACCH プログラム研究会 神奈川支部事務局  
〒242-0022 神奈川県大和市柳橋 5-2-7 県央療育センター内 宇山  
【TEL】080-3250-2115 【FAX】046-269-0067  
【e-mail】teacchkanagawa@yahoo.co.jp

### < 愛知支部 >

月	日	支部主催の事業・内容・講師	会報発行	総会、世話人会など
1月			会報発行	14日世話人会
2月	4日 (土)	講演会「地元でこんなことやっています」 講師：山田慎二氏 (岐阜県立加茂特別支援学校教諭)		4日総会・世話人会
3月				11日世話人会
4月	29日 (日)	フォローアップ研修		
5月	20日 (日)	講演会「基礎から学ぶTEACCHプログラム」 講師：諏訪利明氏		
6月				
7月	未定	フォローアップ研修	会報発行	
8月				
9月				
10月	未定	フォローアップ研修		
11月	未定	実践報告会 助言者：岡田真子氏		
12月				

## ＜滋賀支部＞

日 時	内 容	場 所
4月21日(土) 午後1時30分 ～4時	講演「発達障害の方への支援のこれまでとこれから」 ～この10年で変わったこと、変わらないこと～ 滋賀県発達障害者支援センター「いぶき」井深允子 氏 自閉症の人たちが充実し、安心して暮らせる成人期を迎えるためには、それぞれのライフステージでどのような支援があるとよいのでしょうか。また、自閉症の人とかかわる時には、どのようなことを大切にするとよいのでしょうか。今回は、いぶきが開所してからの10年間、自閉症の人を取り巻く状況の移り変わりや、先生の長年に渡るご経験や、自閉症の方たちとのエピソードなどを通してご講演いただきます。	G-NETしが (男女共同参画センター)
5月25日(金) 午後7時～ 8時50分	講演「自閉症の特性理解」 滋賀県発達障害者支援センター「いぶき」田代亜希子 氏	コミュニティー センターやす
6月22日(金) 午後7時～ 8時50分	氷山モデルから問題行動の背景を考える事例検討会① 「幼児期」	コミュニティー センターやす
7月27日(金) 午後7時～ 8時50分	氷山モデルから問題行動の背景を考える事例検討会② 「学齢期」	コミュニティー センターやす
9月28日(金) 午後7時～ 8時50分	氷山モデルから問題行動の背景を考える事例検討会③ 「成人期」	コミュニティー センターやす
10月26日(金) 午後7時～ 8時50分	氷山モデルから問題行動の背景を考える事例検討会④ 「学齢期」	コミュニティー センターやす
11月30日(金) 午後7時～ 8時50分	氷山モデルから問題行動の背景を考える事例検討会⑤ 「成人期」	コミュニティー センターやす

参加費:会員は無料。会員外は1回 500 円。◇事前申し込み:不要。単発参加も可能。

＜問い合わせ先＞

TEACCHプログラム研究会 滋賀支部事務局 田代亜希子(滋賀県発達障害者支援センターいぶき)

E-mail: [teacchshiga@mail.goo.ne.jp](mailto:teacchshiga@mail.goo.ne.jp)

★TEACCHプログラム研究会滋賀支部のブログを始めました。

例会日時の変更その他の情報を載せています。例会前にはチェックをしてみてください。

ブログ → <http://blog.goo.ne.jp/teacchshiga> 「TEACCH 研滋賀支部」で検索できます。



## ＜京都支部＞

2012年度例会の日程は下記のようにしております。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

日時と場所	講師	所属	タイトル・内容
1/21(土) 14:00～16:30 ハートピア京都 大会議室	寺尾孝士さん	川崎医療福祉大学	「行動障害のある自閉症の支援」 自閉症の人たちの中には行動障害を 起こしている人が少なくありません。激 しい行動障害のために本人はもちろん、 家族や支援者が日々、苦しんでいる 厳しい現実があります。そのような行 動障害のある自閉症の人たちと長年、 向き合ってきた寺尾先生のお話を 聞きながら、今一度、行動障害につ いて一緒に考えてみませんか・・・？
5/12(土) 13:30～16:30 京都社会福祉 会館	澤 月子さん	京都市発達障害者支援 センター かがやき	「米ノースカロライナ TEACCH プログラム視察研修」 ～暮らす・働く・余暇～ 一緒に参加した京都の3婆がお送りする 「私のノースカロライナ紀行」をお楽し みに！そして、この旅の副産物は、全 国のいろんな立場で TEACCH プログラ ムの実践を頑張っている旅仲間です。 ノースカロライナの旅、その後の旅人 たちのお話もできればと思います
7/12(土) 13:30～16:30 京都社会福祉 会館	浅田康義さん 他	ベテスダの家	「地域の中で生きていくために」 ～ひとりひとりにあった生活づくり～ ベテスダの家は、障害の重い方々 がたくさん利用されています。そのお ひとりおひとりが、生まれ育った地域や 社会で、ご本人らしく生きていくための サポートをさせていただいています。 今回は、その取り組みのいくつかをご 紹介させていただきたいと思います。
9/15(土) 13:30～16:30 京都社会福祉 会館	西野美穂さん	乙訓障がい者地域支援セ ンター「キャンパス」	「自閉症者の生活支援」 さまざまな支援を受けながら地域生 活を送っている自閉症の人たち…。支 援の様子や現場の課題などを聞きな がら、自閉症の人たちの生活支援の在 り方を考えてみましょう。
11/17(土) 13:30～16:30 京都社会福祉 会館	吉岡幸司さん	龍谷大付属平安高等学校	「高等学校における特別支援教育の現状」 ようやく動き始めた高等学校での特 別支援教育の現状と課題をお話して いただきます。学校内の体制作り、個別 の指導計画、本人への障害告知、卒 業後の進路など課題は山積みです。

参加費 会員：無料 非会員：500円

## ＜大阪支部＞

月 日 (曜日)時間	支部主催の事業・内容・講師	会場	会報の発行	総会など
3月4日(日) 930-1200			年間講座予定 表特別講座案 内	運営委員会
5月12日(土) 1400-1630	特別講座「自閉症スペクトラム障 害の特性と支援」 村松 陽子氏(京都市児童福祉 センター 児童精神科医)	堺市民会館 大集会室	いまあじゅ発行 公開講座案内	講演終了 後、総会 運営委員会
6月30日(土) 1400-1630	月例会 あらためて「TEACCH プ ログラムとは？」	堺市民会館 小集会室		運営委員会
7月7日(土) 1000-1200	公開講座「診断後の支援につい て(仮題)」 内山 登紀夫氏(福島大学大学 院 教授 児童精神科医)	クレオ大阪南 ホール		
9月29日(土) 1400-1630	月例会 あらためて「スケジュール について」	堺市民会館 大集会室	特別講座案内	運営委員会
10月27日(土) 1400-1630	月例会 あらためて「問題行動をど うとらえなおすか？」	堺市民会館 大集会室		運営委員会
11月10日(土) 1400-1630	特別講座「成人施設での取り組 み(仮題)」 寺尾 孝士氏(川崎医療福祉大 学 教授)	堺市民会館 大集会室	いまあじゅ発行	運営委員会
12月16日(日) 1400-1630	特別講座「コミュニケーションに ついて(仮題)」 諏訪 利明氏(海老名市立わか ば学園 園長)	堺市民会館 大集会室		運営委員会

★参加費 大阪支部会員 無料 他支部会員 無料 学生 無料 家族会員(会員家族) 無料  
非会員 … 月例会・特別講座 1000円 公開講座 2000円

## ＜鳥取支部＞

月	日	時間	支部主催の事業・内容・講師	共催、後援事業・内容	総会、世話人会など
1月	21日 26日	13:30 ~ 16:00 19:00 ~ 20:30	・定例会 未定		・2012年定期総会 ・トレセミ実行委員会
2月	23日		・定例会 未定		・トレセミ実行委員会
3月					・トレセミ実行委員会
4月	26日	19:00 ~ 20:30	・定例会 未定		

5月					・トレセミ実行委員会
6月	28日	19:00 ~ 20:30	・定例会 未定		・トレセミ実行委員会
7月	27日 28日 29日		・第17回自閉症療育者のためのトレーニングセミナーin鳥取		・トレセミ実行委員会
8月	23日	19:00 ~ 20:30	・定例会 トレセミ反省会		
9月					
10月					
11月					
12月	22日	19:00 ~ 20:30	・定例会 未定		

定例会 毎月第4木曜日場所 境港市児童発達相談センター 陽なた  
 その他支部主催研修会 予定  
 1、PARS 講習会 2、スクールショーシャルワーカーについて

## ＜香川支部＞

会場：かがわ総合リハビリテーションセンター 福祉センター 研修室

※ 内容、講師は変更する場合があります。

※ ☆は第3日曜以外の月です。

※ 2月、8月は例会お休みです。

☆1月22日 平成24年度新規会員総会

「なぜ我が家は・・・ゆかいな家族なのか？」

～自閉症ノブの子育てから見た20年の教育・福祉・社会の変化～

NPO法人ふぁみりいNOTE 丸岡 玲子 氏

(2月18日～19日 TEACCHコラボレーションセミナー2012in京都)

☆3月17日(土) 13:00～16:00

公開講演会「豊かに生きるためのヒント 自閉症スペクトラム児者への理解と支援」

横浜発達クリニック 児童精神科医師 宇野 洋太 氏

※会員無料、非会員 1000円

4月15日 新年度恒例大座談会：「自閉症への支援～お悩み相談室」

5月20日 「よくわかる！自閉症の特性理解と支援方法」

高松養護学校(香川支部代表理事) 西村 健一 氏

6月17日 「実践発表1～特別支援学校での取り組み(仮)」

香川大学教育学部附属特別支援学校 滝澤 健 氏

7月15日 「自閉症スペクトラム児者への支援について(仮)」  
香川大学教育学部 教授 武藏 博文 氏

9月16日 「卒業後の豊かな生活のために小中高の各ライフステージで取り組んでおきたいこと  
～キャリア教育の視点より」  
香川県教育委員会 藤田 明 氏

☆10月14日 「実践発表2～家庭での取り組み(仮)」

11月18日 「旬の話題」(仮)  
あじの里地域生活支援センター 草原 比呂志 氏

12月16日 座談会:「自閉症への支援Q&A～繪内Drを囲んで」  
えないメンタルクリニック 繪内 利啓 氏

### ＜熊本支部＞

※日程、内容などは変更する場合があります。会場は、その都度ご案内いたします。

期 日	研修内容・講師		備 考
1月21日(土)	支部総会	総会	会費納入 (～1/30)
	ミニセミ 報告会	平成23年11月開催ミニセミ報告会	
2月18日(土)	講演会	講演1「熊本養護学校高等部東町分教室の取り組み」 熊本養護学校高等部東分教室 坂本治美 氏 講演2「熊本県における特別支援教育について」 熊本県教育庁高校教育課特別支援教育室 栗原和弘 氏	*定例運営委員 会は、毎例会前 後を予定。
4月21日(土)	基礎講座Ⅰ	「精神科医療から見た自閉症の特性の現れ方と支援 —望ましい家庭および学校環境とは—」 はっとり心療クリニック 院長 服部 陵子氏 「心理検査から見た特性の理解 —不適應の背景を考える—」 はっとり心療クリニック 非常勤臨床心理士 植村 孝子氏	
5月19日(土)	基礎講座Ⅱ ＜講演会＞	講演会「構造化について」 成人期の支援—入所施設での構造化の経験 (仮題) 川崎医療福祉大学医療福祉学科 寺尾孝士先生 実践発表 成人施設における構造化の現状と課題	
7月21日(土)	基礎講座Ⅲ	「コミュニケーションについて」 講師 未定	
9月15日(土)	実践講座Ⅰ	未定	
10月20日(土)	実践講座Ⅱ	未定	
H25年度1月19日 (土)	支部総会 及び勉強会	総会 勉強会 未定	

## ＜福岡支部＞

日時	活動内容	アドバイザー (すべて予定)	会場
4月	○自閉症スペクトラム実践研修会案内状送付・ ぷらう送付		
5月19日(土) 13:30~16:00	○自閉症スペクトラム実践研修会 内容:報告(コラボレーションセミナー) 講座「TEACCHプログラムとは」	井上哲雄氏 (西南学院大学)	西南学院大学
6月12日(火) 18:30~20:00	○DVD上映会「自閉症の人が見ている世界」  ○自閉症スペクトラム実践研修会案内状		西南学院大学
7月21日(土) 13:30~16:00	○自閉症スペクトラム実践研修会 内容:実践報告 報告者:募集	納富恵子氏 (福岡教育大学)	西南学院大学
9月11日(火) 18:30~20:00	○DVD上映会(未定)  ○自閉症スペクトラム実践研修会案内状送付		西南学院大学
10月20日(土) 13:30~16:00	○自閉症スペクトラム実践研修会 内容:実践報告 報告者:募集	緒方よしみ氏 (福岡市発達障 がい者支援セ ンター)	西南学院大学
11月	○自閉症スペクトラム実践研修会案内状・ぷらう 送付		
12月8日(土) 13:30~16:00	○自閉症スペクトラム実践研修会 内容:記念講演「成人施設におけるTEACCH プログラム」仮 講師:寺尾孝士氏(川崎医療福祉大)予定 ○平成24年度総会		西南学院大学

※自閉症スペクトラム実践研修会の実践報告者は、随時募集します。  
※日時、アドバイザー、会場については予定であるため、変更される場合もあります。

## ＜大分支部＞

- 1月29日(日)13~16時 総会+実践報告会(大分大学教育福祉科学部附属特別支援学校)
- 2月18日、19日 コラボレーションセミナー京都(申し込みは個人で)
- 3月 おやすみ
- 4月15日(日)14~16時 服巻智子先生講演会(B-Con プラザ)
- 5月 おやすみ
- 6月24日(日)10~16時 諏訪敏明先生講演会(場所未定)
- 7月 おやすみ
- 8月26日(日) 1Dayトレーニングセミナー(大分大学教育福祉科学部附属特別支援学校)
- 9月2日(日) 10~16時 高橋和俊先生講演会(大分県教育会館)

10月21日(日)13～16時 基礎講座+実践報告会(大分大学教育福祉科学部附属特別支援学校)

11月 おやすみ

12月2日(日)10～16時 就労支援に関する講演会(講師未定)(場所未定)

### ＜佐賀支部＞

期 日	内 容	講 師	会 場
1月14日(土)	定例学習会 終了後 総会 行動について	肥前精神医療センター 中山 政弘 氏	アバンセ
3月24日(土)	定例学習会 中原特別支援学校、わくわくキッズ	執行 眞澄 氏 吉永 菜穂子 氏 森 ゆかり 氏	アバンセ
4月21日(土)	定例学習会 自閉症の特性について	オーティズムリサーチ& コンサルタンシー 服巻 智子 氏	ほほえみ館
5月19日(土)	定例学習会 コミュニケーションについて	NPO 法人それいゆ 野間 康美 氏	アバンセ
6月9日(土)	定例学習会 構造化について①	オーティズムリサーチ& コンサルタンシー 服巻 智子 氏	アバンセ
7月7日(土)	定例学習会 構造化について②	オーティズムリサーチ& コンサルタンシー 服巻 智子 氏	ほほえみ館
7月28日(土)	公開研修会	香川大学教育学部 坂井 聡 氏	メートプラザ
9月1日(土)	定例学習会 社会性について①(調整中)	オーティズムリサーチ& コンサルタンシー 服巻 智子 氏	アバンセ
10月20日(土)	定例学習会 移行について	未定	未定
11月17日(土)	定例学習会 IEPについて	うれしの特別支援学校 瀬尾 裕子 氏	未定
12月1日(土)	定例学習会 社会性について②(調整中)	オーティズムリサーチ& コンサルタンシー 服巻 智子 氏	未定
12月23日(日) ～24日(月)	佐賀支部トレーニングセミナー	今本 繁 氏 水野 敦之 氏	未定

1月 行動の問題について ※終了後 支部総会

3月 事例検討会(トレーニングセミナー報告 他)

《佐賀支部代表》入井 淑圓(ろう学校)  
 《事務局》中原特別支援学校《会計》うれしの特別支援学校  
 《発送作業委託》NPO 法人 すずらん(宗本さん)



～トレーニングセミナー in とっとり～

第17回 自閉症療育者のためのトレーニングセミナー 参加募集！！

TEACCHプログラム研究会では、1989年以降トレーニングセミナーを全国各地で開催してまいりました。2012年度、第17回目のセミナーは、鳥取で開催されます。本セミナーは自閉症の人たちへの治療、教育、福祉に携わっている方を対象に、自閉症への理解を深め、支援技術のさらなる習得を目的としています。過去に多くの方が受講し、知識と技術を身につけ各地でご活躍されています。

トレセミとは、講義と実習から成っています。トレーナー（自閉症療育のスペシャリスト）から自閉症の特性や支援についての講義をしていただきます。そして、実際に自閉症の方（協力者）にご協力いただき、講義などから得た知識を活かして、自立課題やコミュニケーションツールなどを計画・作成・実践・再検討していきます。今回は、香川で実施され大変好評でした！

自閉症へのさらなる理解と支援技術向上のために奮ってご参加ください。

1 期日 2012年 7月27日(金)～29日(日) 3日間

2 場所 米子コンベンションセンター 鳥取県米子市末広町 294 番地  
JR米子駅より徒歩 3分 米子空港(鬼太郎空港)よりタクシーで約 20分  
米子空港よりJR米子駅直行バスあり (ゲゲゲの鬼太郎ロードまで米子空港より約 10分)

3 トレーナーおよび講師  
重松 孝治さん(川崎医療福祉大学 講師)  
新澤 伸子さん(梅花女子大学現代人間学部心理学科教授)  
緒方よしみさん(福岡市発達障がい者支援センターゆうゆうセンター所長)  
岡村 隆弘さん(社会福祉法人 ひらぎの里 支援員)

4 申し込み資格(以下の3項目を満たす方)  
・TEACCHプログラム研究会会員  
※非会員の方は、入会手続き後お申し込みください。入会については最寄りの TEACCH プログラム研究会各支部へお問い合わせください。  
・自閉症児・者の治療、教育、福祉に携わる専門職の方  
・セミナー3日間全日とおしての受講が可能な方

5 受講費 5万円(昼食、懇親会費別途。宿泊は必要に応じて各自)

6 定員 20名(4グループ編成:幼児、小学生、中高生、成人。各5名ずつ)  
※申し込み者が定員を超えた場合は、書類にて選考させていただきます。

7 申込期間 2012年5月1日(土)～5月31日(月)※期間内消印有効

8 申込方法 申込書に必要事項を記入し、郵送でお申し込みください。  
※FAX・メールでの申込は受けできません。

申込宛先:〒684-0043 鳥取県境港市竹内町 550-2 境港市児童発達相談センター 南前 素子 宛

9 受講決定通知 2012年6月中旬までに郵送にて通知いたします。

☆問い合わせ先 TEACCHプログラム研究会鳥取支部事務局  
南前 素子(境港市児童発達相談センター)  
FAXでお問い合わせください。  
FAX:0859-45-2005(境港市児童発達相談センター)

NO. \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日受理

**第 17回自閉症療育者のためのトレーニングセミナー受講申込書**

ふりがな				性別 男・女
氏名				年 月 日生( 才)
ふりがな				
住所	〒			
連絡先	TEL		メールアドレス	
	FAX		緊急連絡先	
勤務先			職 種 仕事内容	( 年目)
勤務先所在地	〒	<連絡発送先>		
	TEL	自宅・勤務先		
	FAX	(一方に○をおつけください。)		
トレーニングセミナーの参加経験はありますか？(ある方はどちらのトレーニングセミナーですか？)				
あり(参加トレセミ名: _____ ) なし				
<p>☆自閉症療育にかかわった経験およびトレセミ参加を志望された動機をご記入ください。          (※受講者選考の際の参考にさせていただきます。)</p>				